

様式 4

平成 26 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 26 年 8 月 8 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・准教授

申 請 者 名 高原 円

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・ <u>学会等</u>) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	第 19 回精神神経内分泌免疫学研究集会
事業実施期間	平成 25 年 6 月 28 日 ~ 平成 25 年 6 月 29 日
成果の概要	<p>公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会の第 19 回研究集会を福島大学の高原をコーディネータとして開催した。</p> <p>参加者は、総数 26 名であった。講師として福島県立医科大学のシステム神経科学講座より浄土英一先生にお越し頂き、「統合失調症モデル動物である PCP 投与動物において認知・行動異常が発現する神経生理学的メカニズム」についての講演を拝聴し、さらにもう一方、産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門より甲斐田幸佐氏をお迎えし、「睡眠覚醒の生理心理」と題して海外での研修内容を含め、当該分野の今後の発展に資する示唆に富んだ講演を拝聴することができた。その他、労働安全衛生総合研究所の井澤氏、国立精神・神経医療研究センターの津村氏、北海道大学の松友氏より一般研究口演発表等が行われた。参加者は、福島大学、滋賀大学、関西学院大学、カオテック研究所、星薬科大学、九州大学、浦和大学、長岡技術科学大学、関西福祉科学大学、北海道医療大学、新潟青陵大学、東海学園大学、佐賀大学など全国より参集した研究員、教員ならびに学生らであり、肩書きの垣根を越え、活発に議論・意見交換を行った。</p> <p>初日は、参加者からの最新の研究成果に関する研究紹介、新しい研究のシーズ、今後の精神神経内分泌免疫学研究の方向性に関する議論が夜遅くまで行われた。翌日は、福島大学内研究室や実験室、福島県内被災地の視察を行い、両日とも充実した内容で盛会となった。</p>